

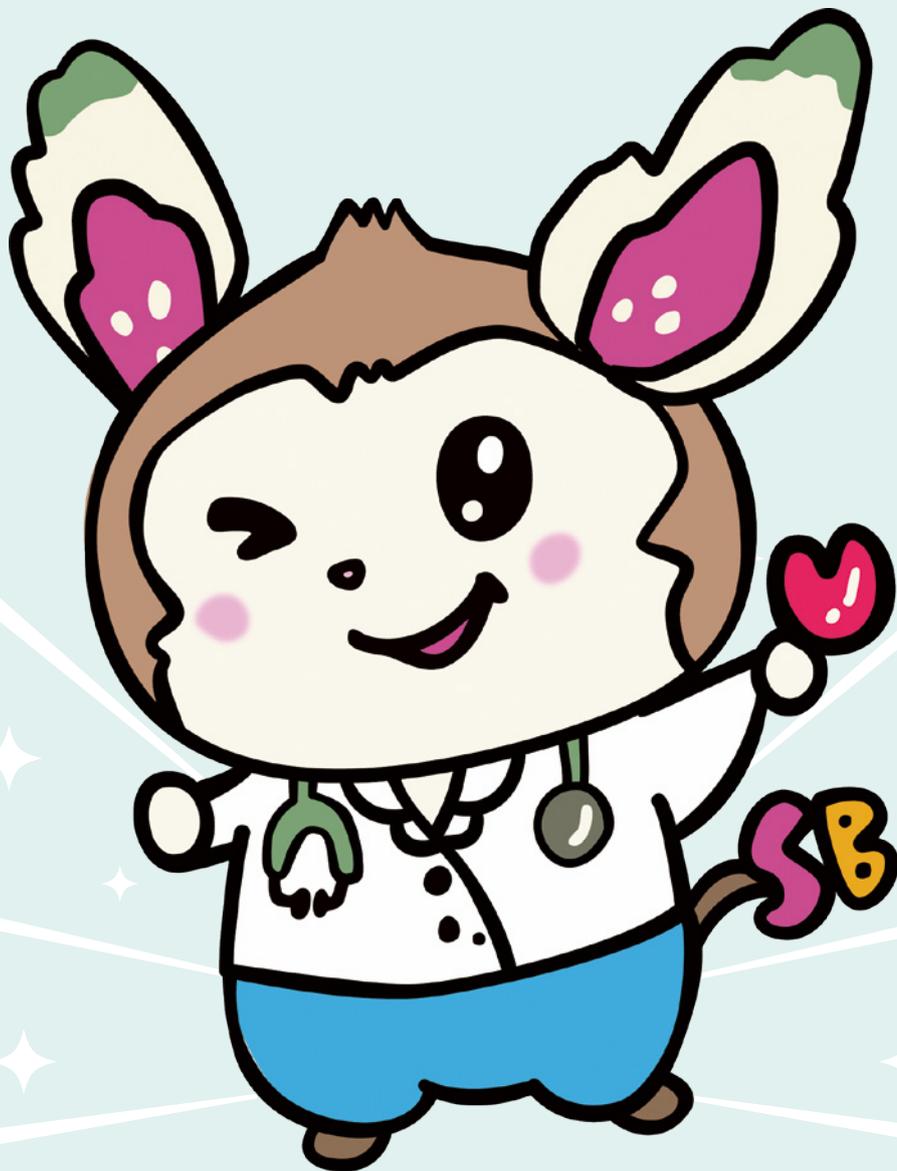
ゆうかり Yukari

vol.
06

2026.1
WINTER

特集 | 公式マスコットキャラクター「せいぼん」誕生秘話

公式マスコットキャラクター「せいぼん」誕生!



CONTENTS

公式マスコットキャラクター「せいぼん」誕生秘話
形成外科・皮膚科トピックス／糖尿病コラム
ワクチンについて／ほっと新田原のご紹介
Viva・Reha!／院内研修レポート／病没者追悼式



公式マスコットキャラクター

「せいぼん」誕生秘話

当時（2023年）、当院はまだ広報活動とは縁がなく、情報発信に十分取り組めていない状況でした。さらに、コロナ禍からの立ち直りも思うように進まず、入院・外来ともに決して順調とは言えない時期が続いていました。

前職では本業の傍らで企画広報活動に携わっていたこともあり、「このままではいけない」という思いから、広報活動の必要性を訴えました。

理事長をはじめとする理解者の支援もあり、「企画広報委員会」を立ち上げ、活動をスタートさせることができました。

広報誌の創刊をはじめ、医療機関への挨拶、定期研修会の開催、SNSの開設・運用、公用車の導入など、活動の幅は少しずつ広がり、成果も目に見えるようになってきました。職員一人ひとりの協力やアイデアが形となり、病

院全体の雰囲気にも少しずつ前向きな変化が生まれていると感じています。

そんな中で、以前から挑戦してみたい「マスコットキャラクター」の制作に取りかかりました。職員からデザインを募集し、出そろったキャラクターの中から全職員による投票を実施。その結果、見事選ばれたのが「せいぼん」です。

愛らしい表情とずんぐりとした体型が魅力の、どこか憎めないキャラクターです。

これからは、新田原聖母病院の「もう一人の仲間」として、「せいぼん」とともに地域の皆さまに親しまれる病院を目指していきたいと思えます。

地域医療連携室 清水

せいぼん プロフィール

-  しっぽのSBIは聖母（SeiBo）のSB
-  新田原聖母病院に着任した新人Dr
-  左手には敬愛印のハートを持っている。
-  新田原地区のフルーツが大好き！特にイチジクに目がなく、食べ過ぎで耳がイチジク柄になっている。
-  おっちょこちょいな性格でよく忘れ物をして怒られる。

優しく患者さんに大人気
みんなに幸せと真心と笑顔を届けます!!



レーザーの基本的なお話

理事長 形成外科・皮膚科 安田 浩



当院では美容中心としたレーザー治療を行っています。私自身、産業医大在籍時代からレーザー治療をしておりましたので、当院就任時にレーザーを導入していただき現在に至っています。そもそもレーザーとはなんなのでしょうか？今回は基本的なレーザーの解説をします。

レーザー：laserはLight Amplification by Stimulated Emission of Radiationの頭文字を集めた単語です。日本語にすると「誘導放出による光の増幅」となり、かえってわかりにくくなります。単純にいうと「エネルギーを持った単一波長の光」です。レーザー光を作るときには励起する物質で波長が決まります。励起する物質にはルビー、アレキサンドライト、ヤグ、炭酸ガス、色素などがあり、これらによって出てくる光の波長の特性で治療対象が変わります。

レーザーを知る上で重要なのは、この波長がどの物質に吸収されやすいか（選択的光熱溶解）と、照射時間によってターゲットだけを破壊するのか、その周囲も含めて破壊するのか（熱緩和時間）という2つの要素で考えられています。

前者の波長と各種組織の吸光度を表すグラフを図1に示します。

いちご状血管腫や単純性血管腫は保険適応の色素レーザー（ダイ）が用いられます。色素（ダイ）は酸化ヘモグロビンの吸光度が比較的高い585nmや595nmの波長を出します。当院で用いている脱毛やシミ治療に使っているアレキサンドライトやNd:YAG（ヤグ）はメラニンターゲットとしています。ただ酸化ヘモグロビンの吸光度が高い部分では血管にも作用しますので、メラニンと酸化ヘモグロビンの吸光度の差がある領域の波長を用いることで選択的にメラニンを破壊するようになっています。いわゆるレーザーメスは組織に含まれ

る水分に作用します。当院で用いている炭酸ガスレーザーは10600nmの波長でこの図からさらに右側へ移動し、水の吸光度がさらに高くなりますので組織を蒸散することが可能となっています。

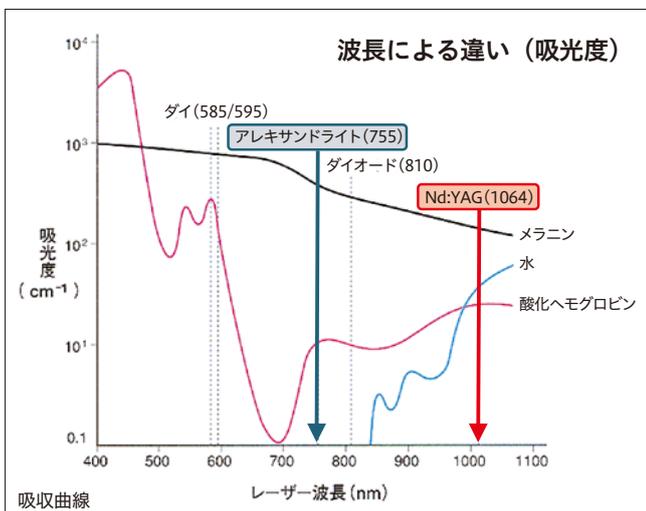
熱緩和時間に関しては熱いものを一瞬触っただけでは火傷をしないのに、ある程度の時間接触すると火傷することと同じで、皮膚では1m秒以内であればほとんど熱の影響を受けないとされています。レーザー開発当初はこの時間より長く照射することしかできず、目標の組織は破壊できるものの、周囲に瘢痕を生じることがありました。レーザー機器の進歩によってナノ秒の照射が可能となり、特にメラニン破壊に関しては治療効果が上がるようになりました。他方、脱毛では毛根に集まっているメラニンだけが焼

けても周囲に熱が広がらないと毛根を破壊することができません。そのため当院での照射時間は3m秒で照射するのですが、その寸前に冷却ガスを噴霧して表面の皮膚組織を冷却するので破壊される温度まで上がらず、他方レーザーは深い毛根まで届いて破壊ができるという機器の進歩によってさらに治療対象が広がっています。

照射時間の長さによって現在はナノ秒であるQスイッチレーザー、さらに短いピコ秒であるピコレーザー、当院が所有する少し長めに照射するロングパルスレーザーなどが開発されています。

当院はアレキサンドライトとヤグが搭載されたロングパルスレーザー（Gentle Max）と炭酸ガスレーザーを所有しています。前者では脱毛、顔面の若返り治療（rejuvenation）、淡いシミの改善、顔全体の引き締め、面状のシミの蒸散を行っています。また後者の炭酸ガスレーザーは一般的に炭酸ガスレーザーをコンピューター制御によって照射エネルギーや口径の調整が可能で顔面のホクロや少し厚みのある脂漏性角化症の蒸散を行っています。

これらの治療は保険外となります。また部位や大きさによっては保険診療で手術適応の場合もあります。保険外の場合は相談無料で行っていますのでお気軽に受診していただければと考えます。



資料提供 シネロン・キャンデラ株式会社



第3回

糖尿病 コラム

週1回インスリン「アウイクリ®」の登場

● 糖尿病内分泌内科 南陽平 ●

● はじめに

2型糖尿病では、インスリン抵抗性(インスリンの効きが悪い状態)とインスリン分泌低下の両方によってインスリン作用不足が生じて、結果的に血糖値が上昇します。インスリン抵抗性とインスリン分泌低下のバランスは体質に大きく依存し、個々の症例により異なります。

2型糖尿病の治療目標は、合併症の発症、進展を阻止し、糖尿病のない人と変わらない寿命と日常生活の質(QOL)を実現することです。現在、様々な糖尿病治療薬がありますが、その中でも特にSGLT2阻害薬やGLP-1受容体作動薬は、体重減少効果や血管合併症の進展抑制効果等を併せ持つため、昨今では積極的に用いられています。しかしながら罹病期間が長くなるにつれて、自身のインスリン分泌低下が目立つようになると、インスリン以外の糖尿病治療薬では血糖管理が困難になるため、インスリン補充療法が必要となります。

2型糖尿病においてインスリンが必要となった場合、最初に使用されることが多いのは「基礎インスリン」です。健康な人のインスリン分泌は、食事とは関係なく一日中少しずつ分泌される「基礎分泌」と、食後の血糖値上昇に応じて追加で分泌される「追加分泌」があります。基礎インスリンは、この基礎分泌を補うことで、体内で不足しているインスリン産生を補い、自身のインスリン分泌に余力を持たせてくれます。

現在使用されている多くの基礎インスリンは、1日1回投与で安定して作用を保つ製剤です。しかしながらインスリン導入は、針を刺すことへの恐怖、低血糖への不安、治療継続の煩雑さ等の理由により、導入が遅れることがよくあります。特に認知症などにより自己注射が困難な方においては、病態的にはインスリン注射が必要であるにも関わらず使用できない場合があります。大きな問題となっていました。

2025年1月より使用可能となったアウイクリ®は、週1回のインスリン注射であるため、自身で注射ができない方も、訪問看護や家族のサポートで使用が可能となりました。

● アウイクリ®の特徴

アウイクリ®(一般名:インスリンイコデク)は、ヒトのインスリンの構造を変化させ体内に長く留まることができるようにしたインスリンです。半減期(血中濃度が半分になるまでの時間)が196時間(約8日間)と長く、週1回の投与で7日分(1週間分)のインスリンをまとめて注射

することができ、作用時間が長い一方で、治療開始から血中濃度が安定した「定常状態」に達するまでには、約3〜4週間を要します。この導入期に生じる一時的な血糖値の上昇を防ぐため、連日投与製剤からの切り替え時には、ローディングドーズとして「初回のみ1.5倍量」とすることが推奨されています。ただし高齢者(65歳以上)などでは低血糖リスクを考慮し1.5倍投与

図1 「アウイクリ®注フレックスタッチ® 総量300単位」



写真: ノボ ノルディスク ファーマ ホームページより

表1. アウイクリ®の主な特徴や注意点

単位刻み濃度	<ul style="list-style-type: none"> 1クリック=10単位設定。 空打ち10単位。 高濃度(700単位/mL)であり液詰まり防止のため、注射後の針取り外しが必要。
投与回数投与量	<ul style="list-style-type: none"> 1週間に1回、同じ曜日に皮下投与。 従来の基礎インスリン1日量の7倍を週1回で投与。 切り替え時は、初回のみ上記単位数からさらに1.5倍に増量が推奨。 ※高齢者等の低血糖リスクが高い場合では1.5倍にしない選択肢も検討。
定常状態到達	<ul style="list-style-type: none"> 3〜4回投与(3〜4週間)で血中濃度が定常状態に達する。
最大効果	<ul style="list-style-type: none"> 投与後2〜4日目に血糖が最も下がりやすく、低血糖が起こりやすい。
投与忘れ時	<ul style="list-style-type: none"> 思い出した時点で投与し、次回は4日以上間隔を空けて投与。
保管期間	<ul style="list-style-type: none"> 開封後、総量300単位製剤は室温で6週間以内に使用。 総量700単位製剤(※2025年10月時点では未発売)は12週間以内。

を行わない選択肢も示されています。さらに、前述したようにアウイクリ®は1週間安定した作用を示しますが、その作用は投与後2〜4日目の効果が少し強いことが知られています。したがって低血糖のリスクを回避するには、2〜4日目の空腹時血糖などに特に注意して用量調整することが重要となります。

前述したことも含めて、アウイクリ®の特徴や注意点(表1)、またアウイクリ®の向き不向き(表2)についてお示しします。

表2. アイクリ®が向いている方・向いていない方

	患者像	理由
アイクリ®が向いている方	自己注射が困難な高齢者や認知症等の患者	家族や訪問看護師等の週1回サポートで治療が可能。
	インスリン導入を躊躇している	週1回のみでの投与であるため、心理的抵抗・時間的負担が軽減され、治療導入や継続率の向上が期待される。
	注射を忘れがち	注射回数が減ることによりアドヒアランスが向上し、血糖コントロールの安定が期待される。
	注射回数を減らしたい	注射回数の減少によりQOLの向上が期待される。
アイクリ®が向いていない方	生活リズムが不規則	毎日決まった時間に注射するのが難しい方でも、週1回であれば管理しやすい場合がある。
	1型糖尿病や膵性糖尿病等で血糖が不安定な患者	血糖値の変動が大きい場合には、食事や運動量に合わせてインスリン量をきめ細かく調整する必要がある。

●まとめ

2025年1月より、週1回で済む基礎インスリン「アイクリ®」が登場しました。注射回数を大幅に減らせるため、自己注射が難しい高齢者や日々の注射負担等でインスリンが導入できなかった人が恩恵を受けることができるようになりました。2025年12月からは長期処方も解禁されたため、ますます多くの方の使用が見込まれます。

一方で、新規薬剤であるため実臨床でのデータは十分ではなく、シックデイ対応や注射単位数を間違えた場合の対応等、明確な回答が得られていない点もあります。この製剤の特性を考慮して使用していくことが重要と考えられます。

病気の内はなし【第4回】

ワクチンについて

寒い季節になりました。
インフルエンザや肺炎などの感染症が心配になります。
新型コロナとRSウイルスも注意が必要です。
そこで感染症予防として大切なワクチンについてお話しします。



呼吸器内科
病院長
緒方 賢一

インフルエンザワクチン

このワクチンはたくさんの方が接種されています。今年はAビクトリア・Aバース・Bオーストリアの3価ワクチンになっています。以前はA2種B2種の4価ワクチンを使用していましたが、WHOの推奨に添って今年から3価に変更されました。大人は1回接種し、65歳以上と60歳〜64歳で重症化リスクのある方には公費の助成があります（お住いの市町村により助成内容は変わります）。接種後2週間効果が表れ、5〜6カ月間持続します。2歳から19歳未満の方は注射ではなく、鼻に噴霧するワクチンが使えます。

肺炎ワクチン

肺炎の中で最も頻度の高い肺炎球菌に対するワクチンです。その中で「ニューモバックス」は公費助成となるワクチンです。接種後3週間で効果が表れてきます。ただ有効期間が5年間でその後再接種を要し、その際は自費負担になります。肺炎ワクチンには、ニューモバックスとは違うタイプの結合型ワクチンもあります。公費助成はありませんが、結合型ワクチンはより強く長期に効きますので、1回の接種で終了になります。この結合型ワクチンには数種類ありますので、どの結合型を使うかは担当の先生と相談して決定します。

新型コロナワクチン

コロナ感染が5類になって、コロナワクチンは年1回の接種になりました。65歳

以上と60歳〜64歳で重症化リスクのある方は、公費助成があります。ワクチンを接種すれば、入院や死亡リスクが軽減します。高齢者や基礎疾患のある方には、重要なワクチンとなっています。インフルエンザワクチンと同時に接種することも可能になりました。

RSウイルスワクチン

ウイルス肺炎のワクチンになります。これまでRSウイルスは小児の感染症と思われていましたが、大人にも肺炎を引き起こすことがわかりました。60歳以上と50歳〜59歳で重症化リスクのある方が対象になります。ただ公費助成はなく自費負担のワクチンです。接種後数週間で効果が表れ、現時点で2〜3年有効であることが分かっています。今後さらに有効期間は伸びるかもしれません。RSウイルスには有効な治療薬がありませんので、ワクチンによる予防が重要になります。

感染症は予防が大切です。その予防にワクチンは有効になります。ワクチンをしていけば、もし感染しても重症化を防いでくれます。もちろん感染しないことが最も重要です。そのためには、マスク、手洗い、うがい、アルコール消毒などの感染標準予防策を行い、体調管理に努めてください。そして、注意していても感染したときは、早めに病院を受診してください。

ほっと新田原のご紹介

介護についてのお悩みはございませんか？
お気軽に「ほっと新田原」までご相談ください！



ほっと新田原の特徴

スタッフ ケアマネジャー 2名

私達ケアマネジャーは住み慣れた地域や自宅で可能な限り自立した生活が送れるよう、利用者様やそのご家族の心身状況・生活状況を伺い、意向を尊重したケアプランを作成します。利用者様が自分らしく安心した暮らしが継続できるよう支援していきます。

●ご利用の流れ

1 自宅訪問・面談・ご契約

ご自宅を訪問し、ご本人やご家族の生活状況などをお伺いし、ご契約いただきます。面談を通して課題分析（アセスメント）等を行います。



2 ケアプランの作成

担当ケアマネジャーがご本人の心身の状態や生活環境、ニーズを把握し課題を分析します。その課題が解決できるようにケアプランが作成されます。生活における不安事やご希望をしっかりと反映されたケアプランを作成する事が重要です。



3 サービス提供事業者との連絡・調整

その方に必要なサービスを相談しながら自己決定して頂き、スケジュールを組みます。ご本人がスムーズにサービスを受けられるようサービス提供事業者と連絡・調整を行います。ケアプランの内容に沿ったサービスが提供されるよう情報共有を行います。（サービス担当者会議）



4 毎月のモニタリング・ケアプランの見直し

介護サービスの利用が開始されたら、月1回ケアマネジャーがご自宅に訪問し、現状の確認（モニタリング）を実施します。定期的なモニタリングにより新たなニーズがないか聞き取りを行い、介護サービスが必要と判断した場合はケアプランの見直しをします。



利用できる方

要介護認定をお持ちの方
※要支援の方は対象外です。

サービス提供日時

月～金 8:30～17:30
土 8:30～12:30
休日：日曜・祝日、8/15、12/30～1/3

サービス提供地域

行橋市・みやこ町・築上町

医療法人 敬愛会 ほっと新田原

〒824-0025 行橋市大字東徳永339-1
TEL 0930-22-2304 FAX 0930-22-1380



寒い季節、健康でイキイキと暮らしていくためには、ご自身での体調管理が大事です。日常のストレスによって、自律神経が乱れ、呼吸も浅くなり、ちょっとしたことで動悸や息切れが生じやすくなります。この自律神経を整える方法、健康維持の基本である「腹式呼吸」をご紹介します。

腹式呼吸の効果

- リラックス効果
 - 息切れの軽減
 - 胃腸機能の改善
 - 便秘の改善
 - 免疫力アップ
- などが考えられています。



ポイントは
吸う時の2倍くらいの
時間をかけて吐く

1日3分から始め、慣れてきたら5～10分を目安に無理はせず、やっつけて心地よい範囲で試してみるのがポイントです。ぜひ、日々の生活に取り入れてください。気になる症状があれば主治医の先生にご相談ください。

Report

院内研修レポート

今回は「電話対応」をピックアップ。意外と出来ていそうで出来ていない電話対応について、アクサ生命の伊藤様を講師に迎え研修会を行いました。わかりやすい説明と実例を交えた講義でとても勉強になりました。



言語聴覚士の出前講座はいかがですか？

「摂食嚥下機能障害とオーラルフレイルについて」「言語障害について」などご希望の方はお気軽にご連絡ください。TEL 0930-23-1006 担当:久池井まで



病没者追悼式

今年も2025年11月18日に追悼式を行いました。

昨年10月から1年間、当院入院中に亡くなられた方、また外来や在宅など、当院とかわりがあり亡くなられた方々の安息を願い、カトリック新田原教会で病院職員、関係者とお祈りをしました。今年も204名の方の追悼を行いました。安らかな眠りにつかれますよう、心よりお祈りいたします。



外来担当医師一覧表

令和8年1月現在

診療科	時間帯	月	火	水	木	金	土
呼吸器内科	午前	緒方 賢一	諸岡 三之	緒方 賢一	諸岡 三之	—	緒方 賢一
	午後	諸岡 三之	—	緒方 賢一	—	諸岡 三之	—
内科	午前	馬込 敦	長野 俊久	馬込 敦	—	長野 俊久	担当医
	午後	長野 俊久	長野 俊久	馬込 敦	馬込 敦	長野 俊久 (隔週)	—
糖尿病 内分泌内科	午前	—	—	—	南 陽平	南 陽平	—
	午後	—	南 陽平	—	南 陽平	—	—
整形外科	午前	—	—	矢次 登	—	—	—
	午後	—	矢次 登	—	—	矢次 登	—
形成外科 ・皮膚科	午前	安田 浩	—	安田 浩	安田 浩	—	安田 浩
	午後	形成外科手術 (予約のみ)	—	形成外科手術 (予約のみ)	安田 浩	—	—
循環器内科 ・内科	午前	—	八代 晃	—	—	—	—
	午後	—	八代 晃	—	—	—	—

※原則として外来担当日にお越しく下さい。急病の場合は、電話にてお問い合わせください。

外来診察日

時間帯	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
午後 14:00 ~ 17:00	○	○	○	○	○	休診

休診日

日・祝日、8月15日、12月30日~1月3日

専門外来

- 脳神経内科/毎週木曜日 14:00 ~ 16:00 (魚住武則)
- 眼科/第2水曜日 14:00 ~ 16:30 (月1回)
- 消化器内科/毎週木曜日 午前 (予約のみ)
- 放射線科/土曜日 午前 (月1回・予約のみ)

※患者さんが少ない場合は、早めに受付を終了する場合があります

関連施設

病院併設通所リハビリ(短時間型)	TEL 0930-28-8170
新田原在宅ケアセンター	TEL 0930-25-4404(代)
ほっと新田原(居宅介護支援事業所)	TEL 0930-22-2304
新田原訪問看護ステーション	TEL 0930-23-8877
新田原デイサービス通所介護	TEL 0930-23-8394

診療科目

内科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・形成外科・皮膚科・糖尿病内分泌内科
脳神経内科・消化器内科・眼科・放射線科・リハビリテーション科

病床数

一般病床53床 地域包括ケア病床53床(計106床)

理念 「敬愛(敬天愛人)」 神を敬い、人を愛する心です

指針 今を生きる、地域と人に優しい病院であり続けたい

基本方針

- 1 地域と共に生き、要望に応えるべく、変革の気概を持つ。
- 2 十分な説明と同意に基づく信頼の医療を行う。
- 3 求めに迅速に応え、迅速に対応する。

中期ビジョン

- I 急性期から在宅まで、地域の医療機関・介護施設と連携し、地域医療を支える地域連携の中心病院となります。
- II 呼吸器、循環器、糖尿病内分泌内科、整形外科、形成外科・皮膚科を中心として地域の幅広い患者さんの要望に応えるため、救急から看取りまで行います。
- III 医療・介護の情報発信に努め、地域住民に開かれた病院となります。
- IV 職員が誇りと高い使命感のもと、より働きやすい病院をめざします。
- V 経営基盤の強化を行い、地域から必要とされる新病院計画を策定します。



特定医療法人 敬愛会 新田原聖母病院

〒824-0025 福岡県行橋市大字東徳永382番地
TEL 0930-23-1006 FAX 0930-22-5682
病院ホームページ <https://www.s-seibo.or.jp>

